
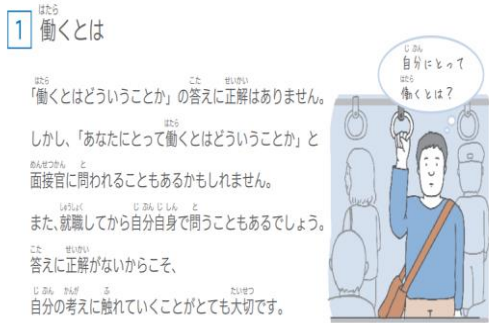


利用者の知識及び能力の向上に向けた取組の状況

事業所名	株式会社レーヴ	事業所番号	2719402378
住 所	大阪市中央区内本町1-2-14秀和ビル10F	管理者名	末藤 隆行
電話番号	06-6940-0877	対象年度	令和5年度

利用者の知識・能力向上に関する取り組みの状況	
<p><活動内容></p> <p>令和5年9月13日（水）参加者8名 10:00~12:00 令和5年9月15日（金）参加者7名 10:00~12:00 1.利用者様同士のコミュニケーション能力が円滑に行えるための参加型研修</p>	<p><活動の様子></p> 
<p><目的></p> <p>1.自己分析と自己紹介（現在取り組んでいる事、取り組みたい業務、趣味等）を通して、他者の考え方を受け入れる。 2.題材【働くとは】を設定し、研修を実施。自身にとって「働く」とはどのようなことか、また何のために働いているのかを参加者全体で共有する。 3.ストレスマネジメント（グループワーク）を実施、自分にとってストレスは何か、ストレスの種類、ストレス反応の種類を各自出し合っでのディスカッションを行った。また、どうすれば落ち着けるか、ストレスを緩和できるかをそれぞれ共有する。</p>	
<p><成果></p> <p>利用者様の中には、社会生活を送っていく際の課題・問題をどうしても一人で抱え込んでしまう方が多い。しかし、他者の悩みや考え方を知る事で、自分は自分らしくて良い事を知るきっかけとなった。後半のグループワークにおいては、実際に書き出すことで、利用者様自身が大切に考えている事（価値観）を視覚的理解が出来たとの声も聞かれた。</p>	

実施後の事業所評価

一般就労を目指していく中で、利用者様個人個人が自己分析を行う事は重要である。座学・講義型研修の場合、多くの情報を参加者全体に短時間で伝える事が出来るが、その反面、どうしても一方的な情報提供になりがちで、聞くだけの受動的な姿勢、参加者によって理解度にバラツキが出るといったケースが多かった。今回、体験・参加型のグループワークを実施し、利用者様自身の積極的な関わりが、参加者全体の理解度の向上にもつながった。一般就労として定型業務ではなく応用力を身につける等、体験・参加型研修で重要とされる能動的な参加は、一般企業が求める自ら考え行動する人材の育成にも繋がると思われる。今後も定期的に実施していく事で、参加者が自分自身の内面や周囲と対話する機会を設けていく。それによって、社会生活に必要なコミュニケーション能力の訓練効果を高め、安定した就労のための知識及び能力の向上に向けて取り組んでいく。

事業所名	就労継続支援A型レーヴ	担当者名	長谷部
------	-------------	------	-----